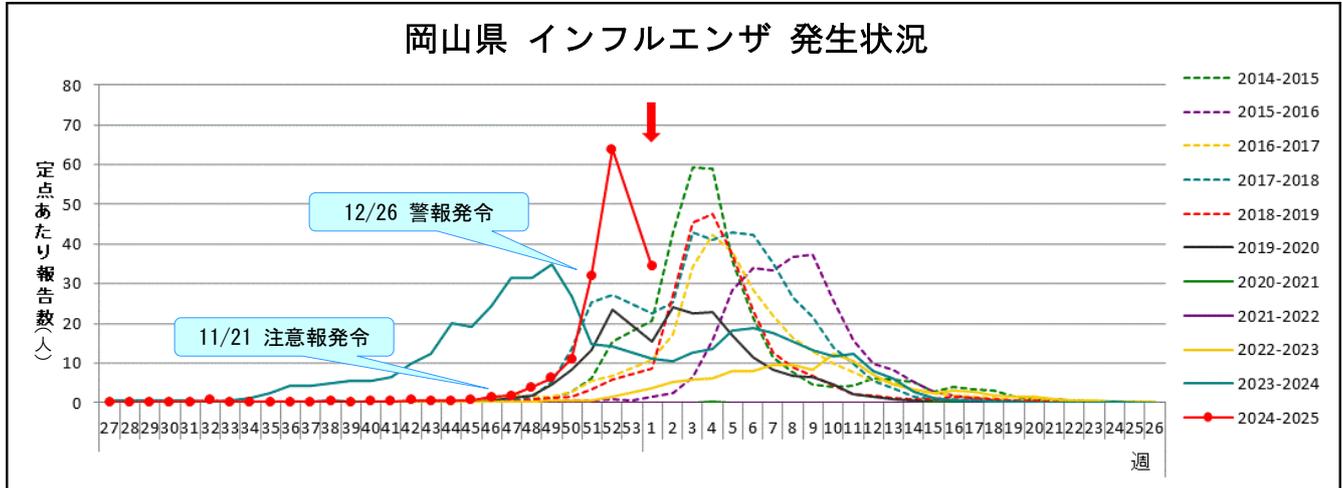


インフルエンザ週報 2025年 第1週 (12月30日～1月5日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2,883名（定点あたり34.32人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者84名の報告がありました。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で2,883名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり63.76→34.32人）。岡山県は12月26日に『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図ってきたところですが、第52週（12月23日～12月29日）に、定点あたり報告数が63.76人となり、過去10年で最も多くなりました。その後も、警報発令基準値を超える流行状況が続いています。

地域別では、倉敷市（80.75人）、真庭地域（43.33人）、美作地域（39.10人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、人混みを避ける）、健康的な日常生活、あらかじめの備え（ワクチン接種）等に留意し、感染予防・感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【感染予防と感染対策の徹底】

- ・ 場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底
- ・ 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・ 十分な休養、バランスのとれた食事
- ・ 高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方で、予防接種がまだの方は接種を検討しましょう

（ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た際の対応】

- ・ 無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう
- ・ かかりつけ医などの医療機関を早めに受診しましょう（受診の際はマスクを着用しましょう）
- ・ 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ『[インフルエンザ対策について](#)』をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	2,883	▲	備 中	患者数	397	▲
	定点あたり	34.32			定点あたり	33.08	
岡山市	患者数	135	▲	備 北	患者数	114	▲
	定点あたり	6.14			定点あたり	19.00	
倉敷市	患者数	1,292	▲	真 庭	患者数	130	▲
	定点あたり	80.75			定点あたり	43.33	
備 前	患者数	424	▲	美 作	患者数	391	▲
	定点あたり	28.27			定点あたり	39.10	

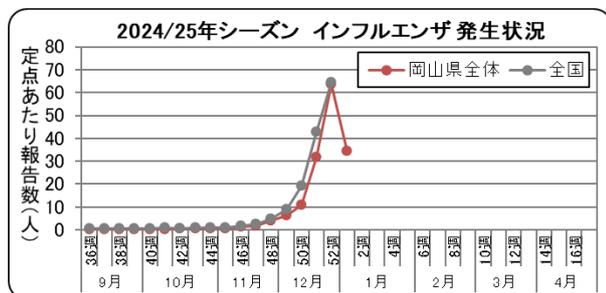
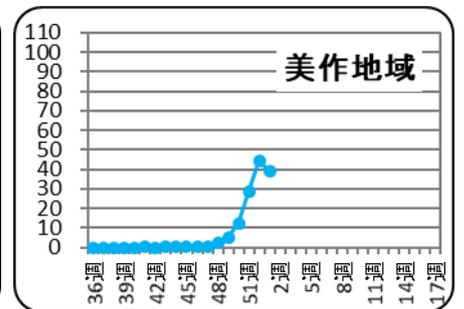
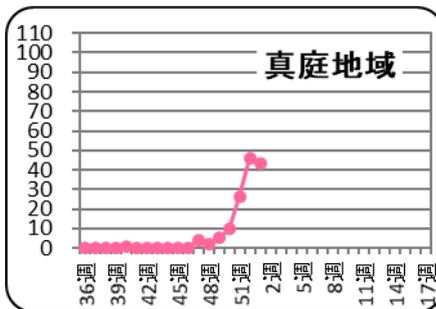
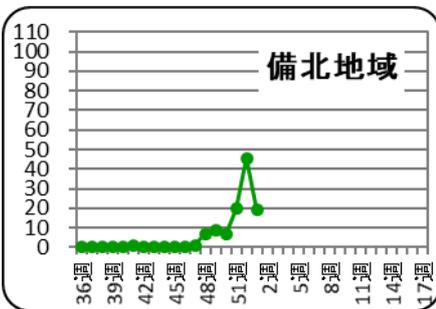
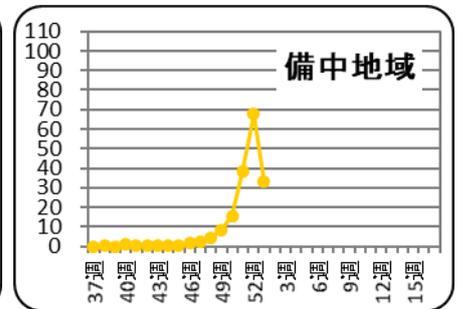
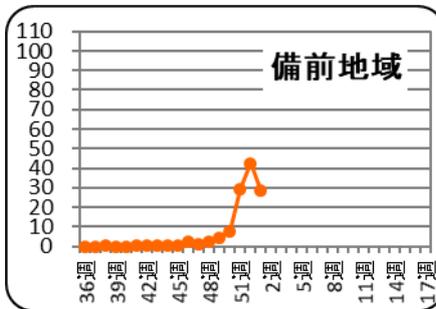
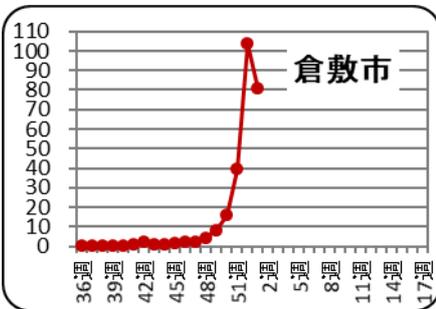
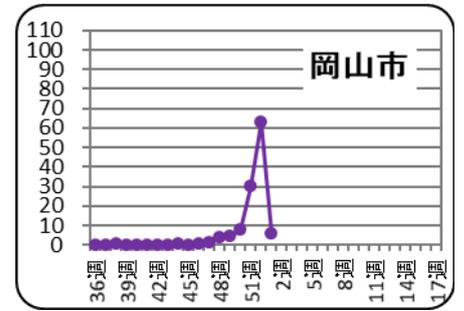
【記号の説明】 前週からの推移 ▲ : 大幅な増加 ▲ : 増加 ▲ : ほぼ増減なし ▼ : 減少 ▼ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

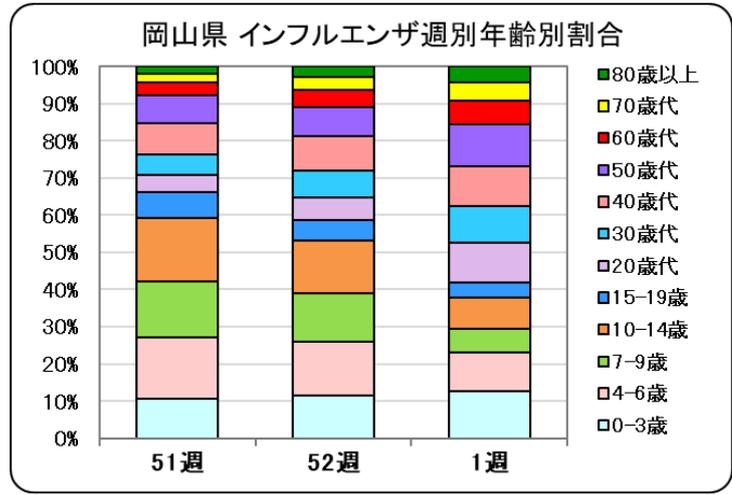
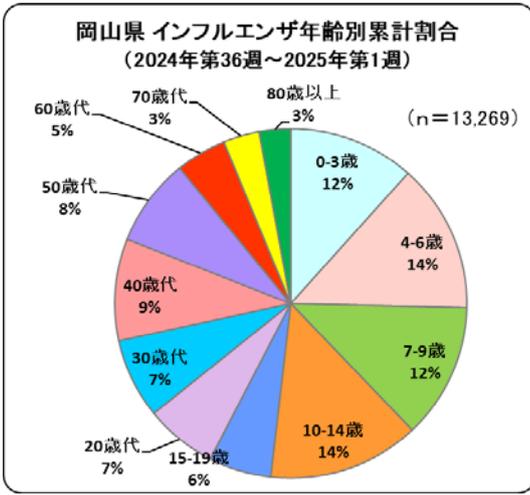


全国集計 2024 年第 52 週 (12/23~12/29) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 64.39 人となりました。

都道府県別では、大分県 (104.84 人)、鹿児島県 (96.40 人)、佐賀県 (94.36 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



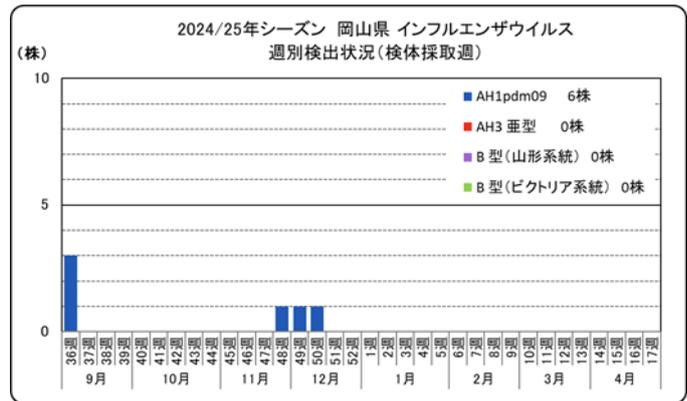
⚠️ 留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

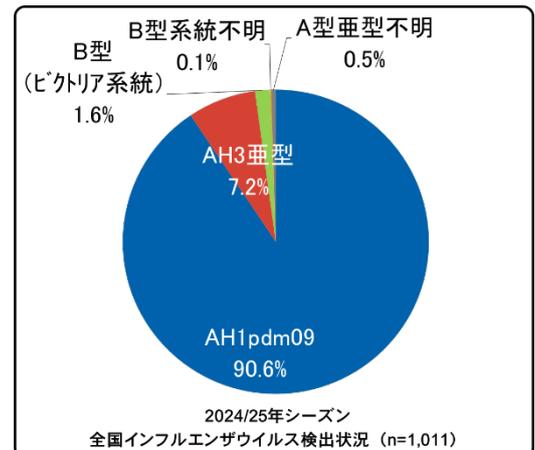
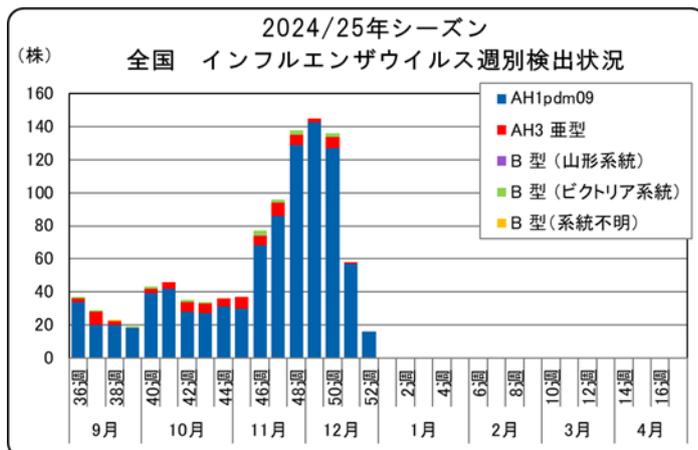
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは6株で、全てがAH1pdm09となっています。



【全国】

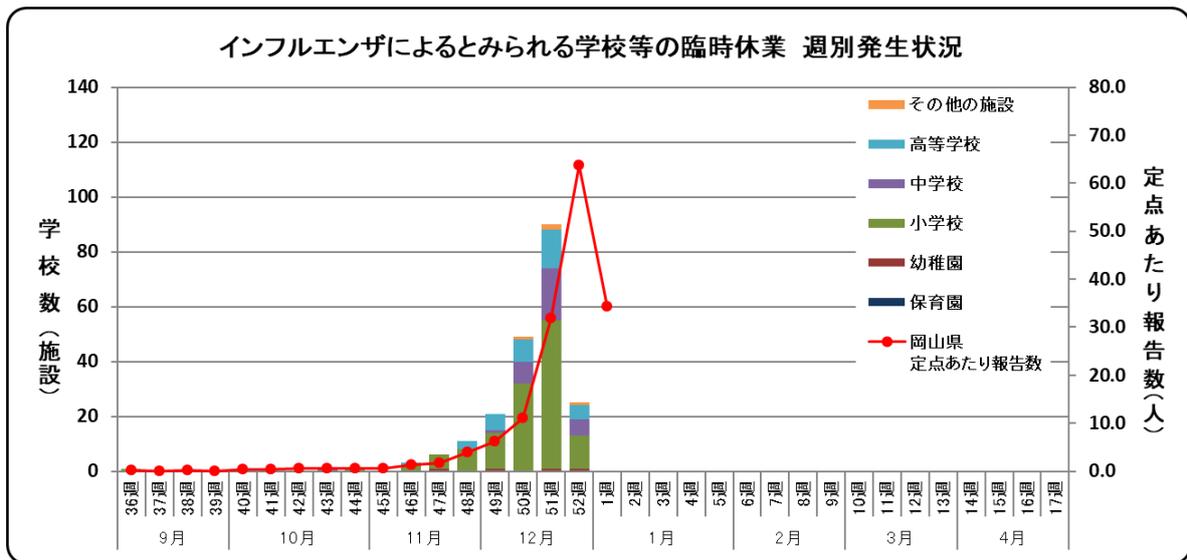
今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が917株、AH3亜型が73株、B型(ビクトリア系統)が16株、A型亜型不明が5株、B型系統不明が1株となっています(1月10日現在)。

インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立感染症研究所)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第1週	0	0	0	0	0	0	0
累計	0	4	128	35	37	4	208

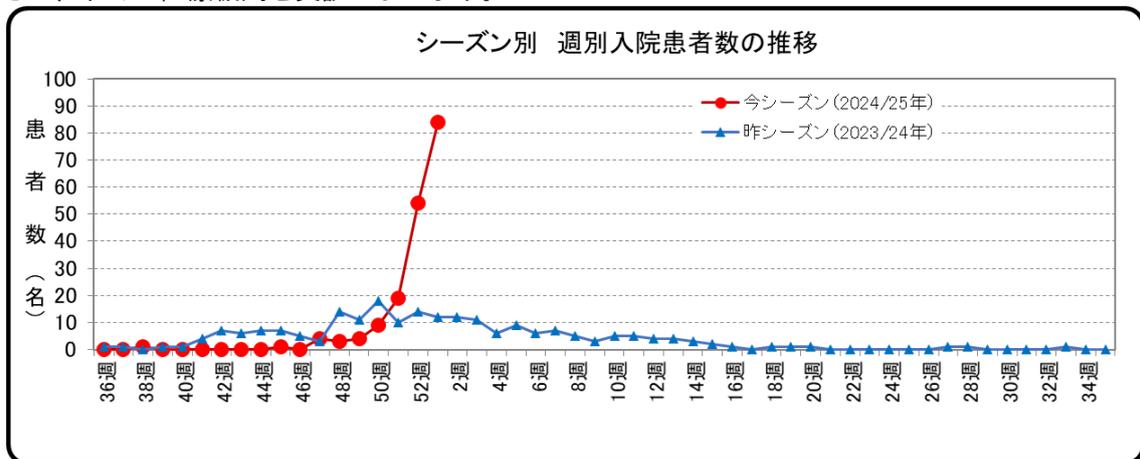
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R6年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、84名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第1週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		11	5	5		2		1	3	8	22	27	84
ICU入室*			1						1		1	2	5
人工呼吸器の利用*											2	2	4
頭部CT検査(予定含)*				1						2	6	5	14
頭部MRI検査(予定含)*		1		1							1		3
脳波検査(予定含)*		1		1									2
いずれにも該当せず		10	4	4		2		1	2	6	14	20	63

* 重複あり

【2024年9月2日(第36週)以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	21	16	7	2	3	1	3	13	22	43	46	179
ICU入室*			3				1		5	3	2	2	16
人工呼吸器の利用*			1				1		3		2	2	9
頭部CT検査(予定含)*		1	2	2					2	3	9	8	27
頭部MRI検査(予定含)*		3	4	1					1		2	2	13
脳波検査(予定含)*		2	2	2									6
いずれにも該当せず	2	17	8	5	2	3		3	7	16	32	36	131

* 重複あり

[令和6年度 インフルエンザQ&A \(厚生労働省\)](#)

[令和6年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

